



## NEC、CISSPの資格取得を通して お客様との信頼関係を構築

CISSP®

Certified Information  
Systems Security Professional

An (ISC)<sup>2</sup> Certification

Orchestrating a brighter world

NEC

日本電気株式会社(NEC)は、安全・安心・公正・効率という社会的価値を創造し、誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の現実を目指しています。

NECはそのPurposeを具現化した「NEC 2030VISION」の下で、お客様をはじめとした様々なステークホルダーと「未来の共感」を創り、テクノロジーの力を最大限に活用して目指す未来を実現することで、持続可能な社会の実現とSDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)の達成に貢献する活動を続けています。

この取り組みを実現するため、NECは社員に成長の機会を提供していますが、その取り組みの一つとして、(ISC)<sup>2</sup>CISSPの公式トレーニングがあります。NECが提供するこのプログラムのユニークな点は、セキュリティチームだけでなく、他の職種にもトレーニングを開放していることです。

この大胆な取り組みの一翼を担っているのが、NECグループ全体のサイバーセキュリティ戦略統括部長の淵上真一氏、CISSPです。同氏は、職務の一環として各部門を統括し、サイバーセキュリティ戦略を策定し、プロジェクトを成功に導くための施策を実行しています。

CISSPトレーニングを提供する理念は、お客様の環境におけるセキュリティを総合的に検討し、お客様に提供する製品、システム、サービスにおいて適切なセキュリティが実施されているかを確認し、必要に応じて修正できる人材が重要であるという考えの下にあります。CISSP資

格保有者は、この高い信頼性が求められる業務に従事する資格を持っていることを意味します。

トレーニングを社員に提供しようとするきっかけとなったCISSPの魅力的で重要な側面について、淵上氏は「CISSPは世界的に認められている資格であり、共通知識体系(CBK®)に基づく体系的なカリキュラムに裏打ちされています。CISSPは他の資格とは異なり、技術だけでなくマネジメントの要素も盛り込まれており、お客様に対してセキュリティの価値を最大限提供することができます」と述べています。





NECのトレーニングプログラムでは、人材育成 (HRD)トレーニングプログラムの一環として (ISC)<sup>2</sup>公式トレーニングを採用しています。幸いなことに、淵上氏は(ISC)<sup>2</sup>認定主任講師でもあり、トレーニングでの質の高い講義が可能です。現在、トレーニングは年に複数回行われています。

NECは、CISSPのトレーニングを6ヶ月間の大規模な人材育成プログラムに組み込んでいます。このより大規模なプログラムの目標は、セキュリティ・バイ・デザインの実践を専門的に行うことです。CISSPのトレーニングを受けた人の多くは、修了後3～6ヶ月で試験を受けます。もちろん、成功の尺度は、CISSP試験を受けた人の合格率にあります。NECではトレーニング後の受験を義務付けており、年間約50名、あるいはそれ以上の認定取得を目指しています。

淵上氏はCISSPのトレーニングを提供することについて、複数のメリットを感じています。「CISSP資格に必要な概念を学ぶことで、当社が目指すセキュリティを実践できる実務者の育成につながります。それとともに、お客様と仕事をするうえで、CISSP資格を保有していることがお客様に安心感を与え、より深い信頼関係を構築することにつながります。また、技術だけでなくマネジメントも理解したバランスの良いセキュリティエンジニアの存在も重要です。」

社内には、CISSP受験者をサポートする強固なコミュニティが存在します。また、多くの社員がトレーニング内容を定着させるためのプライベートの勉強会を開催しています。さらに、トレーニング受講者同士が自主的に討論会を行うなど、互いにサポートし合う傾向があります。これはセキュリティ、オープンかつ率直な議論、情報交換を促進する地域ごとのチャプターやグループでも知られる、(ISC)<sup>2</sup>コミュニティの全体的な精神に沿ったものです。

多くの企業にとって、セキュリティとそのセキュリティチームは、しばしば目立つことの少ない存在であり、セキュリティ意識向上が必要な一般スタッフに対する意識向上トレーニングを行うときに現れます。NECでは、セキュリティ担当者だけでなく、あらゆる職種の社員に対してCISSPのトレーニングを提供する先進的な取り組みを行っています。この取り組みにより、お客様と接する役割を担う社員に対し、資格保有が重視されています。

淵上氏は[NEC中期経営計画2025](#)において、CISSP資格保有者を150名以上増やすことを目標として掲げています。この目標は難易度の高い目標と思えるかもしれませんが、淵上氏の取り組みと熱心な社員の努力により、2021年度単年で80人以上の社員がCISSP試験に合格し、この目標達成に貢献しています。

## (ISC)²との提携によるチームのトレーニングおよび認定取得

それぞれの組織には独自の認証やトレーニングのニーズがあるため、画一的なソリューションでは対応できません。そのため、[\(ISC\)²の公式トレーニング](#)は、組織の予算、スケジュール、独自のサイバーセキュリティ要件に合わせて調整することができます。(ISC)²では、ニーズをヒアリングさせて頂く機会を設け、各企業のセキュリティチーム向けにカスタマイズしたサイバーセキュリティトレーニングと資格取得計画の策定をサポートします。

(ISC)²は、安全で安心なサイバー世界の実現に向けて活動する国際的な非営利会員団体です。高い評価を得ているCertified Information Systems Security Professional (CISSP)資格で知られる(ISC)²は、セキュリティに対する網羅的で実用的なアプローチの一要素となる資格のポートフォリオを提供しています。16万人以上の会員は、サイバー、情報、ソフトウェア、インフラストラクチャのセキュリティ専門家で構成されており、業界の発展に貢献しています。(ISC)²の詳細については、[www.isc2.org](http://www.isc2.org) (日本語サイト:[japan.isc2.org](http://japan.isc2.org))をご覧ください。 [Twitter](#)や[Facebook](#)もフォローしてください。



© 2022, (ISC)² Inc., (ISC)², CISSP, SSCP, CCSP, CAP, CSSLP, HCISPP and CBK are registered marks of (ISC)², Inc.